

【2024年度版】

学べば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

宇都宮共和大学シティライフ学部

講師派遣制度のご案内

～ テーマ一覧 ～

社 会 生 活		
自転車は未来を救う LRTがまちを変える 「住めば愉快だ宇都宮」 身近な居場所づくりとコミュニティ 子どものまちづくり参画	命を守るコミュニティづくりと 共有地の悲劇 人間とAIの共存 ～生成AIとの関わり方～ 社会から見る人間の行動 Uターン促進のために ～心理調査の観点から～	市民社会と法 ～18歳になると何が変わるの？～ 裁判員制度から見る刑罰の意義 サステナブルツーリズムの推進と 実践 ～ジオパークを中心に～ 「ありふれた景観」は まちづくり の資産となりえないでしょうか？
経 済 ・ ビ ジ ネ ス		
景気の見方・考え方 簿記会計世界へのいざない	経済学の考え方 ～日常生活を考えるヒント～	消費の対象としての「外見」 ～ジェンダーの違いによる外見と自己評 価の関係を考える～
教 育 ・ 教 養		
人権問題・人権教育 ～その歴史と現状と課題～ 全国学力・学習状況調査から見え る子供の活用力 プレゼン力を高める	アンケート自由記述項目の テキストマイニング分析 地方議会会議録を見る	昭和～平成の新語流行語 社会人にも役に立つ教育心理学 地域資源の発掘とその活用 ～学校教育や観光まちづくり～

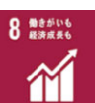


UTSUNOMIYA KYOWA UNIV.

宇都宮共和大学

教員名 主な担当科目	テーマ・SDGsとの関連	概要
特任教授 古池 弘隆 ■都市と交通	自転車は未来を救う   	身近で手軽な乗り物である自転車がポストコロナの時代の今世界中で注目されています。地球温暖化の原因となっている自動車に代わって、環境にやさしく健康的な乗り物として、21世紀の都市交通における重要な役割が求められています。宇都宮市でも「自転車のまち宇都宮」を推進しています。この講義では、外国での先進事例を紹介し、最近のわが国における自転車交通の課題とその解決策について考えてみたいと思います。
	LRTがまちを変える   	2023年8月に日本で初めてのLRT（新世代路面電車）が宇都宮に開通しました。日本の多くの地方都市では、慢性的な交通渋滞や都心部の空洞化など過度の自動車依存の弊害が深刻な都市問題を引き起こしています。一方、世界の多くの都市では、LRTなどの公共交通機関を導入して都市の活性化に成功しています。今後ますます高齢化が進むわが国の地方都市での持続可能なまちづくりについて、LRTを中心に考えてみましょう。
	「住めば愉快だ宇都宮」 	これからの人口減少時代において、都市間競争に勝ち抜いて100年先まで発展し続けるまちを創っていくためには、市民が自分のまちに誇りを持ち、外の人からは憧れを持って見られるまちを目指していかなければなりません。そのためには、都市のブランドを推進してまちのイメージアップを図っていくことが必要です。この講座では、現在進められている宇都宮市のブランド戦略とその活動について紹介します。
教授 陣内 雄次 ■都市政策論 ■住宅論	身近な居場所づくりとコミュニティ  	少子化、超高齢化のなか、人々の交流の場である身近な居場所づくりが地域コミュニティにとって重要になっています。子ども食堂、コミュニティカフェ（レストラン）など、多様な取り組みが各地で進み、一定の成果を挙げっていますが、継続性や運営の難しさなどの課題もあります。多様な事例を紹介するとともに、地域コミュニティにおける居場所づくりの在り方について考えます。
	子どものまちづくり参画 	2011年の東日本大震災後、「まちづくり」という言葉を見聞きしない日はないのではないのでしょうか。それほど「まちづくり」が、防災（減災）という意味合いも含めて私たちの日々の生活にとって身近なものになっています。そのような中、子どもがまちづくりに参画する事例が全国で増えています。栃木県における取り組みを紹介するとともに、子どものまちづくり参画の重要性、今後のあり方と可能性について解説します。
教授 和田 佐英子 ■地方財政論 ■財政論 ■都市コミュニティ論	命を守るコミュニティづくりと共有地の悲劇  	多発する大規模な自然災害の前では人間の力は無効であり、我々の命は自然の脅威の前にいとも簡単に奪われてしまうことを目の当たりにすることがあります。しかし、そうした事態に直面しても命が守られる場合もあるし、そうでない時もあります。そしてそれを決めるのは、当該地域の「コミュニティの力」によることも多いです。本講演では、地域の人の命を守り続けることのできるコミュニティづくりとその担い手問題について考えます。

社会生活	教員名 主な担当科目	テーマ・SDGsとの関連	概要
	教授 高丸 圭一 ■情報社会とAI ■データ分析技術	人間とAIの共存 ～生成AIとの関わり方～ 	2000年代以降、第三次人工知能ブームが続いています。将棋でプロ棋士に勝てるAIや、大学入試に合格できる知能を持つAIなど人間の能力を超えるさまざまなAIが存在しています。機械学習に基づくAIの基本的な仕組みと、chatGPTをはじめとする生成AIの現状を解説をした上で、人間と人工知能の共存について考えます。
	准教授 小浜 駿 ■教育心理学 ■社会学入門	社会から見る人間の行動  	おそらく、ほとんどの人が「自分の行動は自分の意思で決めている」と考えると思います。その考えは、ある部分では正しいと言えるでしょう。しかし、人間の行動が他者や周囲の環境に影響されることも確かです。隣にいる人や周囲の騒音、はては社会制度まで、私たちが影響を受けているさまざまなことがらについてご説明します。
		Uターン促進のために ～心理調査の観点から～  	Uターン促進のために指摘されてきたことは、理屈はわかるが実現困難なことが多い。東京の若者の意見を乱暴に要約すると、故郷に給料の高い会社があるなら帰る、活気のある街なら帰る、といったものです。しかし、経済も人口も心もとないからこそ、Uターンが必要なのです。どうにも、「卵が先か鶏が先か」といった議論が多いようです。こうした風潮に一石を投じるため、心理調査の観点から若者の特徴を明らかにしてみます。心がけを変えることは、きっと経済をよくするよりは簡単はずです。
	専任講師 永井 紹裕 ■法学入門 ■憲法	市民社会と法 ～18歳になると何が変わるの？～   	民法改正により2022年4月から成年の年齢が18歳に引き下げられました。これにより、民事上は早ければ高校3年生の時点で大人と同じ権利を有し、義務を負うことになります。でも、何の権利を持って、どんな義務を負うことになるのか、わかりにくいかもしれません。そこで、本講では、18歳になると法律上何が変わるのかについて具体例を交えて、見ていきたいと思えます。
		裁判員制度から見る 刑罰の意義    	市民が刑事裁判に参加する裁判員制度は、2009年5月21日に始まりました。でも、刑罰って何のためにあるのか、刑が重すぎるとか軽すぎるとかどうやって考えるべきなのか、精神鑑定って何のためにやっているの、などの疑問をお持ちの方は多いのではないのでしょうか。このように、刑事裁判について十分理解している方は少ないと思います。そこで、具体的な事件をいくつか取り上げ、刑罰の意義や刑事裁判（刑事法）の原則や考え方を皆さんで考えていきましょう。
	専任講師 坂口 豪 ■観光学総論 ■観光マーケティング論	サステナブルツーリズムの 推進と実践 ～ジオパークを中心に～    	地域の自然環境や文化、伝統などを守りながら、地域資源を持続的に保全できるような旅行や観光業の取り組みをサステナブルツーリズムといいます。エコツーリズムやグリーンツーリズムもこれに含まれます。ジオパークでは持続可能な観光としてジオツーリズムが推進され、日本のみならず世界中のジオパークとパートナーシップで持続可能な社会を目指しています。ジオパークでの実践事例やガイドの育成プロセスからサステナブルツーリズムの新展開を考えていきましょう。

社会生活	教員名 主な担当科目	テーマ・SDGsとの関連	概要
	専任講師 三浦 魁斗 ■都市景観デザイン論 ■都市計画論	「ありふれた景観」は まちづくりの資産と なりえないでしょうか？ 	2004年に景観法が制定されてから、特徴的な建造物を資産と捉える景観まちづくりが活発化しています。こうしたまちづくりの保全対象の多くは「美しい」建造物を前提としています。必ずしも美しいとはみせない建造物が広がる「ありふれた」景観はまちづくりの資産となりえないのでしょうか？この講座では、宇都宮市に広がる「ありふれた」大谷石建造物に関する研究成果を紹介し、景観まちづくりのこれからについて考えます。
経済・ビジネス	教員名 主な担当科目	テーマ・SDGsとの関連	概要
	教授・学部長 田部井 信芳 ■世界経済論 ■経済学入門	景気の見方・考え方 	経済はグローバル化し、世界経済は相互依存の関係にあります。日本の景気も自国だけ考えていたのでは説明できません。グローバル化時代の景気の見方について説明し、日本経済や世界経済の今後について考えます。
	准教授 薄井 浩信 ■財務会計論 ■管理会計論	簿記会計世界へのいざない  	現代社会において、あらゆるビジネスパーソンに必要となってきた簿記会計に関する歴史、具体的な活用事例について学びます。そして、本講座の受講を機会として、簿記会計に興味関心を持っていただければと思います。また、簿記会計関係の資格は、日本商工会議所主催の「日商簿記検定試験」をはじめ数多くの資格が存在しています。その一つ一つの内容や受験方法などについて紹介します。
	教授 大石 和博 ■経済の基礎 ■ミクロ経済学	経済学の考え方 ～日常生活を考えるヒント～  	なぜ、寿司屋には特上、上、並があるのだろう。なぜ、タクシーは動かなくてもメーターが上がるのだろう。買った本がなかなか捨てられない。日常生活ではさまざまな疑問や悩みがありますね。本講座では、日常生活での素朴な疑問を出発点として、みなさんと一緒に「経済学的なものの見方」について考えてみたいと思います。
	准教授 北浦 さおり ■消費者行動論 ■商品企画論	消費の対象としての「外見」 ～ジェンダーの違いによる外見と 自己評価の関係を考える～ 	日常生活で消費しているものは、手に取れる商品やお金を払って得られるサービスだけではありません。私たちは世の中にある、ありとあらゆるものを消費しています。例えば、私たちの見た目、外見も日常的な消費の対象であると言えます。外見を消費するとは実際にどのようなことなのか、外見を消費することにはどんな問題が存在するのか、そして、外見を消費することは日常生活のどんな側面に影響を与えているのかなどについて、ジェンダーの視点を取り入れながら考えていきます。
教育・教養	教員名 主な担当科目	テーマ・SDGsとの関連	概要
	教授 寺内 孝夫 ■社会科教育法 ■教職実践演習	人権問題・人権教育 ～その歴史と現状と課題～ 	憲法が保障する基本的人権が尊重された平和で豊かな社会を築いていくことは、私たち一人ひとりの共通の願いです。国際化、情報化、少子高齢化に伴う社会構造の複雑化や価値観の多様化の中で、新たな人権問題も生じており、人権教育の果たす役割はますます重要になってきています。人権教育行政や学校現場での実践等の経験を踏まえながら、差別や偏見をなくし、相互の尊敬に基づいた真の共生社会の実現のために何ができるのか、一緒に考えてみたいと思います。

教育・教養

教員名 主な担当科目	テーマ・SDGsとの関連	概要
教授 田上 富男 ■教育課程論 ■教育原理 ■経済数学入門	全国学力・学習状況調査から見える子供の活用力 	平成19年度に43年ぶりに復活した全国学力・学習状況調査は、子供たちが学んだ知識・技能を活用して課題を解決する思考力・判断力・表現力等を問う問題が出題されています。この活用力は、これからの21世紀を生きる子供たちに不可欠な能力であって、全国学力・学習状況調査の問題は活用力とは何かを、具体的モデルとして示しています。これまでの調査問題から活用力とは何かを明らかにしたいと思います。
	プレゼン力を高める 	どうしたら相手に上手く伝えられるか、どうしたら分かりやすい話ができるか、どうしたら見やすく分かりやすいスライドが作れるか、といったプレゼン力は、ちょっとした工夫によって格段に違ってきます。自ら積極的に発信する時代、プレゼン力を高めるための知識や手法を紹介します。
教授 高丸 圭一 ■データ分析技術 ■情報システム論	アンケート自由記述項目のテキストマイニング分析 	アンケート調査の自由記述項目には、有用な意見が豊富に含まれているにもかかわらず統計処理から除外され、参考程度にしか活用されないことが少なくありません。本講座では自由記述をテキストマイニング分析することにより、回答の傾向を把握したり、回答に含まれるキーワード間の関係を抽出する方法について解説します。
	地方議会会議録を見る 	地方議会における首長や議員の発言がすべて記録された会議録はインターネットで公開され、誰でも居ながらにして日本全国の地方議会での発言を読むことができます。本講演では、インターネットに公開された地方議会会議録の見方について解説します。次に、横断的な分析から読み取れる議会発言の言語的特徴と政治課題の特徴について明らかにします。
教授 松田 勇一 ■日本語基礎 ■日本語上級	昭和～平成の新語流行語 	令和の時代に入り、昭和・平成が懐かしく感じるものが多くなったのではないのでしょうか。「東京オリンピック1964」、「オイルショック」、「バブル景気」等、歴史上の出来事としては知っていても、その頃どのような文化があったのかは忘れてしまいがちです。当時の暮らしを新語・流行語を通じて思い出して（若い方は「学んで」）みましょう。
准教授 小浜 駿 ■教育心理学 ■心理学入門	社会人にも役に立つ教育心理学  	教育心理学と聞くと、学校で役立つ、あるいは子どもに使う知識というイメージが強いのですが、大人に対しても有効な知識はたくさんあります。どれだけ叱咤激励しても頑張ってくれない社員のやる気を出させる方法や、効果的なリーダーシップスタイル、会議が十分に機能しない理由など、産業場面でも役に立つ知識をご紹介します。
専任講師 坂口 豪 ■地域資源論 ■地誌学概論	地域資源の発掘とその活用 ～学校教育や観光まちづくり～  	地域にはその土地ならではの個性があり、自然環境や歴史、文化、産業などの地域要素の違いが地域性を生み出しています。地理学はそうした地域性を明らかにしてきた学問でもあります。地域の資源を見直すことで観光やまちづくりを推進する動きも活発です。道の駅などでは地域に根差した食材や伝統工芸などがよく販売されているのを見ます。また学校教育では、ふるさと学習や総合的な探求の時間での学校周辺のまちあるきや地域資源の再発見が行われています。身近な地域資源の利活用を一緒に探求していきましょう。

講師派遣制度のご利用について

宇都宮共和大学は、地域の市民・企業の皆様方の学習意欲に応えるべく、シンポジウム・講演会、セミナー、市民講座などを開催してまいりました。これらの開催、実施に当たりましては、市町村、商工会議所・商工会等の行政や産業団体の皆様方にご協力、ご支援をいただきました。厚く感謝申し上げます。

また、「宇都宮共和大学シティライフ学部講師派遣制度」も、これまで多くの行政・企業・団体等の皆様方にご活用いただき、ご好評を得てまいりました。引き続き、本制度をお気軽にご利用くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

お申し込み方法

①講師派遣の講座等について

市町村および商工会議所・商工会等産業団体、市民団体、事業者等が開催する講座等に、本学の教員を講師として派遣いたします。

②テーマと派遣講師について

記載テーマ以外の講演依頼についても、お気軽にご相談ください。講師のプロフィールについては『宇都宮共和大学研究者名鑑』をご参照ください。

http://www.kyowa-u.ac.jp/common/disclosure/2-1professor_city.pdf

③講師派遣費用について

講師派遣費用（講師謝金、交通費等）は、お申し込み団体の規定に基づきます。本学では一律に設定いたしておりません。

④お申し込み方法について

所定の申込用紙に必要事項をご記入の上、右記にお申し込み下さい。申込用紙は、本学ウェブサイトからダウンロードしてください。

【お申し込み・お問い合わせ先】

宇都宮共和大学 都市経済研究センター

- 所在地 〒320-0811
栃木県宇都宮市大通り1丁目3番18号
- 電話番号 028-650-6611
- FAX番号 028-650-6612
- 電子メール rcenter@kyowa-u.ac.jp
- WEBサイト <http://www.kyowa-u.ac.jp>